



公民館図書だより

北塩原村公民館 令和5年6月 第3号



会津米沢街道歴史ウォーク 2023 開催応援！

蘆名氏・伊達氏を題材にした小説を紹介します☆



北塩原村が誇る国指定史跡「柏木城跡」。戦国時代の雄、蘆名氏により築城されました。会津を含めた地域に南侵しようとする伊達氏から、領土を守る備えとして築かれたお城です。柏木城には、当時の築城技術としては最新技術と思われる石積みや、複雑な虎口(お城の出入口)があったことがわかっています。

しかし歴史に詳しい方を除き、蘆名氏や伊達氏と言われてもいまひとつイメージがわからないという方もいらっしゃるかもしれません。そんな方におすすめなのが次にご紹介する2冊です。

あくまでも小説ではありますが、伊達氏侵攻当時の蘆名家の内情がどうなっていたのか、一方で伊達家の人々は会津侵攻周辺をどう生きたのか、それぞれの家中の様々な立場の人の心情を描いたこの2冊は、当時を理解するのに大いに役立ってくれます。同著者による作品なので2冊通して読んでも違和感なく楽しめます。



『会津執権の栄誉』
著：佐藤巖太郎 文藝春秋

400年にわたり会津を治めていた名門・蘆名氏。その18代目が家臣に殺害されたことから、家中は家督相続をめぐるまとまりを欠いていきます。そこへ伊達政宗による侵攻や、家中の疑心暗鬼があり、最終的に摺上原の戦いへと突入。蘆名の家臣団がたどった滅亡の道と戦国武士の矜持とはどんなものだったのでしょうか。



『伊達女』
著：佐藤巖太郎 文藝春秋

こちらは伊達政宗の周辺にいた女性たちのそれぞれの物語です。政宗の毒殺をたくらんだといわれる母・義姫、政宗を育てた片倉小十郎の姉・喜多など、カリスマ政宗を支えた女性たちこそただ者ではなかったのです。会津侵攻関連は第一話の「鬼子母一母・義姫」です。



『北塩原村の歴史・文化・自然 第3集 国指定史跡 柏木城跡』無料提供中です！

柏木城跡の歴史と価値を豊富な写真や図でわかりやすく解説している1冊です。フルカラー16ページのパンフレットを無料で提供しております。まだお手元に無い方はぜひどうぞ！



今月のミニ展示

今月のテーマ展示は「明日の天気は」です。
天気まつわる本や、タイトルに晴れ、雨、雪などの言葉が入っている小説を集めました。ぜひお手に取ってごらんください。

雨の日はお家でパン作り？！



柴田ケイコさん作の絵本『パンどろぼう』シリーズはユーモラスな絵と物語で子ども達に大人気のシリーズです。絵本に出てくるパンを食べてみたい…そんな子どもたちの願いにこたえてくれるレシピ本が昨年出版されました。『パンどろぼうのせかいいちおいしいパンレシピ』(料理:吉永麻衣子 KA DOKAWA)です。

かめパン(メロンパン)、ねこのてクリームパンなど作ってみたいパンがたくさん！レシピ制作の吉永さんは子ども向けのパンレシピ本も手掛けていらっしゃるの、作り方がとても分かりやすく書いてあります。

温度も湿度も高めの梅雨の時期はパン作りには絶好の季節なんだそうです。外遊びができない雨の日には親子でパン作りもいいかもしれませんね。



今月のおすすめ 児童書・えほん

児童書

『牧野富太郎 植物研究ひとすじに』

作/松原秀行 あかね書房

日本植物学の父とも言われる牧野富太郎。好奇心とあきらめない心をもった人でした。『牧野日本植物図鑑』はインターネット上でも閲覧することができます。正確な描写や繊細な色づかいからは富太郎さんの人柄がうかがえます。また、富太郎さんを支えた奥さんをはじめ支援者の人の存在にも注目してみてください。

えほん

『きょうのおやつは』

作・絵/わたなべちなつ 福音館書店

きょうのおやつはホットケーキ。はじめにたまごをわりましょう。この絵本は鏡のような仕掛けになっていて、となりのページの絵を映してみると、絵が立体的に見えるようになっていきます。割れた殻からボウルに落ちるたまごがまるで本物みたいに見えます。おとなも子どもも楽しめる仕掛け絵本です。